

働くみんなの医療安全

今回はコミュニケーション（チームSTEPPS）第3弾『2チャレンジルール』です。

2チャレンジルールは、基本的な安全上のルール違反を発見、あるいは危険性を察知した人が、その行為をいったん止めさせるために緊急の対処や行為の停止の提案を繰り返し**最低2回は提案する**ことです。



看護師：梅田

野中さん、中村さんにトイレで浣腸をしようと思うんだけど手伝ってくれない？ 中村さん体が大きくて支えられないから一人じゃできないの。

看護師：野中

はい…でも手伝うのはいいですけど中腰や立位で浣腸を行なうのは危険だと思うのですが…。

看護師：梅田

そうだった？ でも食事の時間も近いし、中村さん大部屋だからトイレでやったほうがいいと思うんだよね。

2チャレンジ

看護師：野中

トイレでは臥位になれないので危険だと思います。他の場所で安全にやりましょう。

看護師：梅田

野中さんの言うとうりだね。先生に、早く実施してって言われて焦り過ぎたね。ごめん。どこか安全に浣腸できる場所探そう。手伝ってくれる？



看護師：野中

はい！

患者安全のために、あきらめないで繰り返し勇気を出して最低2回は提案してみよう。

前回の「CAS」を使ってみよう

医師

島崎さん、脳梗塞の疑いがあるから緊急MRIをオーダーしたから、呼ばれたら行ってね。

看護師

先生は付き添わないんですか？

医師

大丈夫でしょ！



2チャレンジ

看護師

もし急激な変化が起きた時に対応できないと困るので付き添ってもらえませんか。

医師

さっき診察したんだよ大丈夫だよ。何かあったら呼んでよ。

CAS

看護師

でも先生、今は落ち着いていますが検査室まで移動距離もありますし、看護師だけでは急な変化に対応できません。とても危険だと思います。

医師

う～ん。……わかった。一緒に行くからMRI検査に呼ばれたら教えて。

看護師

わかりました。

